

## 粉体工学に関する研究開発事業 R&D Business on Powder Technology 粉体工学研究所 Powder Technology Research Institute

ホソカワミクロン(株)の粉体工学研究所は、創業者である故細川永一会長の紫綬褒章受賞を機に、その翌年昭和33年(1958年)の9月に設立されました。その目的は、新しい粉体装置および技術の研究開発と共に、粉体工学ならびに技術の啓蒙・発展を推進する社会的貢献を目指すものでした。そして、同研究所は現在、粉体技術、ナノパーティクルテクノロジーを核として、以下のような業務に取り組んでいます。

- ①粒子設計・粒子加工に関する受託研究・受託試験
- ②独自の研究開発による粉体プロセス機器・システムの開発と実用化
- ③機能性ナノ粉体、複合粉体とこれらを用いた高性能製品の開発、製造
- ④粉体受託加工処理
- ⑤受託分析評価

粉体工学研究所には、昨年は4つの研究部門(①システム開発室、②ナノパーティクルテクノロジーセンター、③環境・エネルギー材料開発室、④製薬・美容科学研究センター)がありましたが、④の製薬・美容科学研究センターがその成果の事業化展開をより強力に推し進めるためにマテリアル事業本部に移動することになりました。さらに、①と③を統合して、新しい環境・エネルギーシステム開発部となったため、研究部門は、③のナノパーティクルテクノロジーセンターと共に2つに集約されることになりました。粉体工学研究所はその他に、⑤分析・評価センター及び⑥企画管理部からなります。

環境・エネルギーシステム開発部では、主に粒子設計・加工技術ならびにそのための処理装置やシステムの開発を中心に、ナノパーティクルテクノロジーセンターは、ナノ粒子粉体材料やこれらを使った製品、ならびに各種粉体特性評価装置の開発に重点を置いて研究開発を進めています。また、分析・評価センターでは、粉体・微粒子、材料に関連する各種の分析評価、解析装置を備え、社内外のニーズに対応する業務を

行っています。

粉体・微粒子に関する研究開発、分析評価、受託加工等につきまして、ご要望がございましたら下記まで何なりとご連絡下さい。

連絡先：ホソカワミクロン(株) 粉体工学研究所  
TEL：072-855-2307  
FAX：072-855-2561  
URL：<http://www.hosokawalab.com>



ホソカワミクロン(株) 大阪本社ビルとナノパーティクルテクノロジーセンター(左下)



枚方技術開発センター(環境・エネルギーシステム開発部、製薬・美容科学研究センター他)